

文学作品の舞台・背景となった地質学 -7- 地中海東部の地質とギリシア神話

<蟹澤聰史>



1. アテネ、アクロポリスからの眺め(本文写真1).
手前の崖は、前期白亜紀の石灰岩の露頭. 遠くに見える
神殿は鍛冶の神ヘファイストスを祀ったドリス式神殿.

2. ミケーネの獅子の門とまぐさ石(本文写真4).
獅子の像は石灰岩で造られているが、まぐさ石など
周囲の石材は鮮新世～更新世の礫岩を用いている.



3. デルフィの遺跡(本文写真2).
紀元前4世紀の劇場. 岩盤を削って造られ、5,000人を収容した.



4. デルフィの遺跡から南方を望む(本文写真3).
はるかに望む谷は、断層に沿って発達する。柱はドリス式のアポロン
神殿。



5. ミケーネの円形墳墓(本文写真5).
石灰岩や礫岩など、獅子の門と同じ石材が用いられている。



6. アクロコリントスの遺跡(本文写真7).
石灰岩の石畳の向こうにはジュラ紀石灰岩からなるアクロコリントス
山が聳える。



7. エピダウロスの円形劇場(本文写真8).
高さ22.5メートルあり、55段の階段で造られている。



8. コリントス運河(本文写真9).
ところどころに正断層が見られる。全長6,343メー
トル、内壁の最高点は79.5メートルに達する。